

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームはなの家

(ユニット名) 桃(3F)

記入者(管理者)
氏名 河田 明美

評価完了日 平成 19年 8月 22日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の中で安心して暮らせるような理念をあげている。		
			(外部評価)		
			「ぬくもりは我が家のように」という法人の理念に沿って、事業所では、利用者が、年を重ねても地域の中で安心して、自分らしく生活出来るよう取り組んでおられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			毎日の申し送り時に理念を唱和して、日々の業務の中で取り組んでいる。		ユニット内で話し合った理念をつくりあげて取り組んでいる。
			(外部評価)		
			運営理念に基づいて各ユニットごとに職員が作成された理念を掲示し、日々の申し送り時に振り返っておられる。管理者は、理念を念頭に置いて実践することの大切さを職員に話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入居時には理念を説明し、面会などで来られる方にもわかるように、玄関と各ユニットに提示している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 買物は近隣のスーパーを利用したり散歩により、地域の人とのきっかけづくりとしてかかわっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の敬老会や夏祭りに参加したり、地区のいきいきサロンという集まりにも参加して交流をはかっている。 (外部評価) 事業所では毎年、五月に「はな祭り」を開催されている。今年は地元のケーブルテレビを通じて宣伝がなされ、又、当日の様子もテレビで放映された。例年にも増して多くのご家族や地域の方々が参加された。開設時から地域の小学校の「ふれあいクラブ」の児童達と交流されており、利用者は楽しい時を過ごされている。		管理者は、町内会のいきいきサロンで事業所についてお話しされており、さらに、今後も認知症について地域の方に理解していただけるよう積極的に参加したいと考えておられた。又、地区の敬老会や文化祭等の地域活動に、事業所が手助け出来ることはお手伝いしていきたいとお考えを持っておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 毎年「はなまつり」の行事を通して地域の人に参加してもらったり、専門学校の学生を実習生として受け入れ貢献している。		ホームが地域の人に支えてもらうだけでなく、職員の知識や技術をいかし役立つことを取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ミーティング時にサービス評価の意義を全職員に説明し、全員で自己評価に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、ミーティング時に全職員に説明がなされ、個々で取り組み、その後、各ユニットごとにリーダーがまとめ、さらに、各ユニットリーダーで検討し作成された。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、勤務前に必ず申し送りノートに目を通し押印する等、職員間の申し送りの仕組みについて徹底をされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			サービス評価報告を行い、それに対する率直な意見を いただき、サービスの向上に生かしている。		
			(外部評価)		
			これまでに7回、運営推進会議を開催された。事業所 の取り組み報告や情報提供、問題提起等をされ、出席 者と意見を交換されている。出席された地域の方の紹 介でカラオケのボランティアの方に来ていただしてい る。又、民生委員の方から地区のいきいきサロンへ のお誘いがあり、10月から利用者が参加される予定に なっていた。		ご家族から、松山市の歌「この街で」を事業所の「は な祭り」の際の踊り等に採り入れてはどうかとの提案 や、法人(創実会)の歌を作ってはとのご意見があ り、検討されていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			普段から市の担当者とのかかわりがあり、市社協の方 とは疑問や相談にのってもらっている。		
			(外部評価)		
			松山市社協の方に相談されたり、家族会にも出席いた だいている。運営推進会議時、市の担当者の方から地 域のイベント参加のあり方等について助言いただい た。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			ミーティング・勉強会で学び、職員が理解する場づく りを提供している。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			ミーティング・勉強会で高齢者虐待について学び、虐 待がおこらないよう確認しあっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時には起こりうるリスクについての説明と、対応についての説明を行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日頃のかかわりの中で、利用者が感じていることをくみとっている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 「はな便り」で行事や様子を掲載して伝え、金銭管理は利用者別のこずかい帳にて領収書を添付し、面会時に説明している。		職員の異動や配置についてのお知らせをしている。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりについてお話しされており、電話やファックスでもご連絡している。「はな便り」を定期的にご家族にお届けし、運営推進会議の内容や職員の紹介等も掲載されている。事業所内には、ユニット毎に、コメントが添えられた職員の写真や似顔絵を掲示されていた。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会で意見を言える場を設けたり、面会時に声かけしている。		家族が意見を言いやすいような雰囲気而努力している。
			(外部評価) 家族会は、1年に3回、事業所の季節行事の際等に開催されており、多くのご家族が出席されている。家族会での意見は少ないが、ご家族から清掃に対する要望があり、職員で話し合われ、すみずみまで清掃するよう心がけておられた。		今後も、ご家族がさらに意見を出しやすくなるよう、働きかけや工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングの場では意見を出し合う場を設けており、必要に応じて意見を反映している。		普段から職員と話し合える機会をつくって、かかわっていくように努める。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 早出と遅出を加えた勤務体制の中でローテーションを組んで対応している。管理者は緊急時や夜間の対応に動ける体制をとっている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ユニット別に職員は固定化しているが、急な欠勤者にも対応できる職員態勢をとっている。		異動や離職した職員のことは説明して、すこしでもダメージを少なくしていきたい。
			(外部評価) 日常的に3ユニット間で交流をされており、職員は、利用者と顔馴染みの関係を築いておられる。運営者は、毎日の昼食を職員、利用者とともに取られている。管理者は、職員にさりげない気配りや声かけをされており、職員も何でも相談をされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 全職員に研修を受けられるように働きかけがあり、研修費用の考慮もある。		
			(外部評価) 県GH協議会主催の職員研修の年間計画書等に基づき、職員の希望に沿って研修を受講できるよう取り組まれている。職員は、口腔ケアや救急法等、研修内容を日々の実践に活かしておられる。2ヶ月毎に開かれている事業所の勉強会では、外部研修の報告等もされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			県グループホーム協議会の研修には参加して、他のグループホーム職員とも交流の機会をもち向上していくように働きかけている。		相互研修に参加する機会を設けている。
			(外部評価)		
			夏祭り等の行事の際には、職員は利用者とともに地域のグループホームと互いに訪問し合っておられる。相互研修や相互評価等、他の事業所との交流を通じて、質の向上に取り組んでおられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に何度か職員の食事会を開催し、横の連携づくりやストレスの発散の場としている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は各ユニットで昼食を共にする時間をつくり、職員との交流する場面もある。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族より相談があった時には、なるべく本人にも来所していただき心身の状態の把握につとめている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談から入所までに様子を聞く機会を設け、信頼関係が築けるようにつとめている。</p>		
25		<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族よりの話しをもとに、利用しているサービス事務所よりの情報も参考にして対応している。</p>		
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人と家族には入居する予定のユニットを見学していただき、他の入居者ともかかわりができるような配慮をしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>入居前に、ご家族やご本人が事業所を見学に来られたり、管理者が利用予定者に会い、お話しされている。併設のデイケアの利用者が入居される場合もある。食事の際、新しい利用者のために、全員のネームプレートが食卓の上に置く等、お互いの名前がわかるよう工夫されている。入居間もない方には、ご家族に頻りに足を運んでいただくようお願いされている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
27	13	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の隣に座り、耳を傾け、共に過ごす時間づくりをしている。</p>		<p>介護度が高い利用者や訴えの多い利用者にかかわることが多いため、それ以外の利用者のかかわり方を考えていく。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者に礼儀や言葉遣い等を教えてもらったり、料理の味付け等も学んでおられる。又、利用者の話される戦争体験に耳を傾け、平和の尊さを改めて考えさせられることもある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 年に3回の家族会では御家族様を招待し、利用者と共に過ごす時間をつくっている。 面会時には近況の報告をし、県外の方には電話やFAXを利用している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時には近況を伝えている。またいつもと様子が違った時には、必ず電話で伝え報告している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 顔馴染みの友達の面会があり、楽しい時間を過ごせるよう支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) リビングで共通の音楽を聞いたり、一緒に散歩に行くなど利用者同士のかかわりをしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去された家族さんに対して「はなまつり」の招待をしたり、他の施設へ変わられた方の訪問をして様子をお伺いしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	(自己評価)		
			<p>毎日のかかわりの中で本人の希望を聞いているが、思い通りのかかわりはいつもできていない。</p>		<p>希望にそえるような体制づくりと、また家族の協力も得ることができるのかかわっていく。</p>
			(外部評価)		
			<p>職員は、日々のかかわりの中で、利用者一人ひとりの思いや意向を汲み取るよう努めておられる。</p>		<p>管理者は、さらにご本人の希望や意向を把握し、共有して支援できるよう今後、センター方式のアセスメントシート等を取り入れ取り組んでいきたいと考えておられた。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>本人・家族との話の中で情報を得ながら把握をしている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>個別の生活スタイルにあわせて自立支援をはかるため、できることできないことを見極め把握している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	(自己評価)		
			<p>本人・家族の要望を取り入れたケアプランの作成をしている。</p>		<p>利用者自体、認知症により本人の思いを聞き取ることが難しく、職員がそれを感じとってプランをたてている。</p>
			(外部評価)		
			<p>「利用者が自分らしく暮らせるよう」ご家族の希望や職員、医療関係者の意見を取り入れ、介護計画を作成されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月ケアプランについてのミーティングを行い、状態が変化した時はその都度にプラン変更をしている。その他は3ヶ月を目安に見直しをしている。		
			(外部評価)		
			毎日の「ケアチェック表」で利用者の日々の変化を確認し、随時、介護計画に反映されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個人記録に1日の様子を記入しており、共有している。		個別のケアプランを頭に入れて毎日かわれるよう申し送りの度にできる事できない事を伝えておくようにする。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			母体が医院であるため医療連携体制はとれており、時間外・休日でも緊急時の対応は取れている。		
			(外部評価)		
			事業所では、病院への送迎等、ご本人やご家族の要望に応じて対応されている。時に、併設のデイケアの催しに、職員が付き添い参加されている。		管理者は、来春4月オープンの際の隣設の複合福祉施設との連携を図っていきたくと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアの訪問によりレクレーションをしたりしてかわりをもっている。民生委員さんとも地区の会に参加してつなげている。		地域の集まりには積極的に参加して、訪問していただけるようにしていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の希望を聞きながら地区の敬老会に参加をしている。理美容は月に1回の移動散髪やボランティアの散髪で支援している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議でのかかわりに引き続き情報交換を行っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・家族の希望のかかりつけ医の受診をサポートしている。また歯科・眼科・皮膚科は訪問診療を受けられるよう支援している。 (外部評価) 母体病院の医師がかかりつけ医になっている利用者が多いが、入居前のかかりつけ医も受診出来ることを話されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体となる医院が脳神経外科であるため、診断や治療をスムーズに受けることができる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 各ユニットに看護職員を配置しており、母体である医院は同敷地内に併設してあるため緊急時の対応の確保ができています。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中は定期的に様子を伺い、家族との連絡を密にしながら退院後の受け入れについての相談をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化を予測される時点で家族と主治医の中で治療方針を決め、確認をしている。 (外部評価) 入居時に、重度化した場合や終末期の事業所の方針について説明をされている。その後も、医師と密に連携を図り、ご家族と話し合いをされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人・家族の意向を確認したうえで治療方針を決め、今後のかわりについて相談してすすめている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の施設等にかわる場合情報を提供し、落ち着いて生活ができるような配慮をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の尊厳を念頭におき言葉かけをしているが、状況により対応ができていないことがある。</p>		<p>常に相手の立場にたった声かけができるようにかかわっていく。</p>
		<p>(外部評価)</p> <p>トイレには大きめのタオルが用意されており、利用者の排泄の際に利用する等、個々のプライバシーに配慮した介助に心がけておられる。職員は、優しさと思いやりを持って利用者に接するよう心がけておられるが、時に声かけや声の大きさ等、配慮が必要な場面も見受けられた。</p>		<p>さらに今後も、職員の利用者へのかかわり方について話し合いを重ねていかれることが期待される。</p>	
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>言語障害のある方に対して、ゆっくりとってもらいジェスチャーも交えて理解をしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別の体調やペースにあわせた対応をしている。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>職員は、食事や食後の口腔ケア等、利用者一人ひとりのペースで行えるよう声かけや気配りをされていた。調査訪問時の昼食後、職員は、利用者個々にコーヒーを召し上がるか紅茶にされるか、希望を聞いて支援されていた。</p>			

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	(自己評価) 着る服を選んでもらったり、髪については移動散髪や ボランティア散髪で満足されている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者と 職員と一緒に準備や食事、片付けをしてい る	(自己評価) 個別に食事形態を変えて、おいしくいただけるように して職員も同じテーブルで同じ食事をいただいでい る。 (外部評価) 出来るだけご自身で食べることができるよう、食器や スプーンを工夫されたり、根気よく支援されていた。 目の不自由な方には、口に運ぶ際に「少し冷たいです よ」等と声をかけておられた。母体病院の院長、院長 夫人、副院長は毎日、ユニットに分かれて職員や利用 者とともに歓談しながら昼食を取られており、さりげ なく利用者を気遣っておられた。食事の下ごしらえや 下膳、食卓拭き等、利用者は職員とともにされてい る。利用者同士で「まだ、おかずが残っているよ」等 と声をかけ合ったり、お世話し合ったりしている様子 もうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ビールの好きな利用者に対して、希望すればビールを 出して飲んでいただいている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	(自己評価) 排泄の時間を考慮しながらなるべくトイレで排泄が出 来るように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			本人に聞きながら入浴の時間帯を決めていただいている。		
			(外部評価)		
			入居時に、時間帯の希望を聞いておられる。入居間もない頃は、基本的に同性介助とされている。シャワー浴の際には、足湯も合わせて支援されている。入浴を嫌がられる方には、無理強いせず、タイミングを見計らって声かけされる等、工夫されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			食後の休息や昼寝の時間をとってもらったりして支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			本人の得意なことを、毎日のかわりとして支援している。		お茶の先生をされていた方に対して、ボランティアできていただける方とのかかわりですすめていきたい。
			(外部評価)		
			調査訪問時、男性の利用者の方が「洗濯物たたみを楽しんでやっています。日めくりも私がめくっています。今日は10月1日ですね」と笑顔で話してくださいました。又、昼食後に新聞に目を通していただかれた。歌唱、オセロゲーム、ユニット対抗で行われる風船バレーボール等、利用者それぞれの力を発揮できるよう支援されている。ビールやたばこをたしなまれる方もおられる。誕生日にはケーキを作り、その方のご家族を招待し、一緒にお祝いをされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			日頃は職員が預かっているが、利用者の中では小額のお金を持っている方もおりそれで少しは安心してもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			買物や散歩に行ったり、戸外の空気にふれている。		
			(外部評価)		
			近所のホームセンターへ、散歩がてら買い物に出かけられたり、利用者の希望で外食に行かれることもある。四季折々の花を訪ねて、バラ展や菊花展等を觀賞されている。		管理者は、今後、利用者のお好きなカラオケと一緒に行ってみたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			花見やイチゴ狩りなどの計画を立て参加を通して季節感を感じてもらっている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			個別に電話のカードを作り、希望される方には利用してもらっている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			ユニット内の出入りは自由であるため、気軽に訪問していただけるように配慮している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の内容についてはミーティングで取り上げ理解をしており、身体拘束はしていない。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵はかけずに自由に出入りができるようになっている。 (外部評価) 日中は、玄関、ユニット入り口は施錠しておらず、自由に出入りできるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の姿が見えるような位置にいて様子を観察している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物は保管場所を決めて管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止のマニュアルを作成しており、各自、理解する様に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署である緊急時の対応の研修には積極的に参加しているが、実際に起こることを想定すると未だ不安は大きい。		人工呼吸方など緊急時の対応について勉強会の度に繰り返し行なう。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルは作成して医療法人での避難訓練はおこなっている。 (外部評価) 定期的に避難訓練を実施し、毎月、防災マニュアルに沿って防災チェックを行っておられる。		運営推進会議で協力をお願いして地域を交えた具体的な連携マニュアルを作成していく。 次回の家族会の際に、ご家族も参加して避難訓練を実施する予定となっている。地域の方にも参加していただけるよう声かけをされている。さらなる安全への事業所独自の取り組みが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時には起こりうるリスクの説明を行ない、理解してもらっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 定期的なバイタルサインのチェックを行ない、いつもと違う変化の早期発見にとりくんでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 主治医の指示による薬を服用しており、利用者別に薬効のファイルを作成しており、職員が把握できるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) おやつに繊維の多い物を出したり、定期的なトイレ誘導により規則正しい排泄に心がけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後には必ず口腔ケアを行ない、感染予防につとめている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個別に食事摂取量と水分量をチェックしてきをつけている。 (外部評価) 調査訪問時、食事制限のある方には、さりげなく量を少なめにされたり、食の進まない方には、栄養補助飲料で補う等、配慮されていた。献立の際、塩分調整に留意されながら、汁物を付ける等、水分確保に心がけておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染に対するマニュアルを作成しており、毎食前の手洗い、外出後の手洗い・うがいをおこなっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食中毒をおこさないよう、台所用品の熱湯消毒や漂白を欠かさない。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関には花を植え玄関先・ユニット内は花をかかさな い様になっている。来訪者に対しての出迎えの挨拶を気 持ち良くしている。		玄関先には季節ごとに、お節句の人形・七夕・クリ スマスツリー・門松などをかざっている。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとっ て不快な音や光がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご せるような工夫をしている	(自己評価) キッチンでの食事のにおいを感じたり、昼食時には音 楽をかけたりして居心地よい空間を感じてもらって いる。 (外部評価) 玄関や居間には季節の花が生けられていた。居間の壁 には、地域の小学校の児童からのメッセージカード や、利用者とともに作った季節感のある飾り物が掲示 されていた。又、1年間の行事予定が大きく分かりや すく書かれたボードが掛けられていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づ くり 共用空間の中には、独りになれたり、気 の合った利用者同士で思い思いに過ごせる ような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下の端に1人がけのソファを置き、1人で過ごせ る空間をつくっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自分の家で使っていたベッドやたんすなどの調度品を持ってきて、安心して過ごしていただいている。		
			(外部評価)		
			居室のドアに、小学生が描いた利用者の似顔絵を貼っている方もおられた。居室には、使い慣れた家具やテレビ、時計等を持ち込まれていた。ご家族の写真やぬいぐるみ、生花、風船バレーボールの優勝メダル等を飾っておられた。外国旅行の思い出に世界地図を貼っておられる方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			掃除の時の換気は必ず行ない、空気入れ替えをしている。冷暖房の温度は気温に応じて調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			浴室・トイレ・廊下には手すりを取りつけ床はバリアフリーとして、車椅子でも対応可能な居住空間としている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレがわかりにくい利用者に対して、表示を大きくしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダに花や作物を植え、リビングからも見える様に育てている。建物の裏には畑があり、作物を収穫して献立にとりいれている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんど掴んでいない	日々の暮らしの中で、本人の思いが組みとれる様にかかわっている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事の際は、職員も同じ物を一緒にのテーブルで食べながら、会話も交えて過ごしている。 ゴミ捨てには、必ず行く方が決まっております一緒ににかかわっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1人1人のペースに合わせて時間にとらわれない生活をしていただいている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんが喜ぶような行事を企画したり、外出などにより笑顔がみられている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調のレベルダウンにより、本人の希望する所へ出かけるのは無理な利用者がある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	母体の医院のDrによる週1回の往診があり、急変な様子の際にもすぐに連絡がつき、Drの指示を受けることができる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の言動から要望を察して対応し、安心してもらえるようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の面会時には、こちらから近況を伝える時間を設けている。家族の言葉の中に感謝の気持ちが伝わってくる。ただ1人の家族に対しては、職員の誠意が伝わらず信頼が欠けていると思われる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	毎日来られている家族さんもあり、他に近隣の小学生の来訪やボランティアでカラオケに来て下さる方もいる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	気が付かない意見も出していただき、今後の参考にしていきたい。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者の家族とのかかわりでストレスを感じている職員がいて、精神的にも負担を感じているようである。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	重度化している利用者さんに対しては外出度の制限もあるため、近くでの外出だけパーをしている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族さんから感謝の言葉をきかれたり、安心してもらっていることを感じる事ができている。ただ1人の家族さんのみ、信頼に欠ける言葉がある。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・母体が病院であるため日頃からの健康管理ができています。
- ・夜間や休日の緊急時でも医療機関への連絡ができ、対応ができる体制が取れている。
- ・近隣の味酒小学校の児童が訪ねて来てくれたり、近くの店舗の花や動物を見に行ったりして散歩コースとなっていたり、地元地域とのつながりがあります。
- ・季節毎の行事としてイチゴ狩り、花見、バラ展・菊花展鑑賞、クリスマス会ならびに忘年会などを行っています。
- ・定期的に年3回程度行っている家族会ではビアガーデン、いも炊きならびに外食を通して入居者家族との交流を図っています。
- ・毎年5月には「はな祭り」を行い、バザーや出店、踊りなどの催しものを行い地域皆さんがおいでになり賑やかです。
- ・運営推進会議を通して地域の方々とのかかわりが広がり、ボランティアとしてカラオケに来て下さる方もいます。
- ・利用者に対しては家族同様の気持ちを持って尊厳の思いを大切にしながらかかわっています。